

「みどり戦略」を考える

対談 葛谷栄一 農的デザイン研究所代表×谷口信和 東京大学名誉教授

かみり現実か

農林水産省は5月12日、昨年秋から検討していた「みどりの戦略」...

います。私の理解では、環境問題への転換を...

もともと 原点の整理



東京大学名誉教授

農政のどこに 位置づく？

谷口 このみどり戦略はいつたい 農政のどこに位置づくのでしょうか...

現場の農業に 知見を見出す

谷口 みどり戦略は、現場の農業に知見を見出す...

「市場原理」から「環境」補う

「持続性」の視点 早い海外の動き

検討は突然に 始まったのか

谷口 「みどり戦略」は2020年9月頃から検討が始まりました...

葛谷 農政の「持続性」の視点、早い海外の動き...

取り戻したい 失われた30年

葛谷 さかのはれは、この数年は失われた30年からのリカバリー...

やめて債務支払いを減らすというところから始まっています...

私の理解では、環境問題への懸念が解すことになったのは、もう9年のりオキヤネエロでの地球環境サミットだと思えます。環境問題が地球規模で大変なことになって取組まなければならないというところですが、日本はまあグローバル化はしているで、何を求めているうちに世界はどんどん進んでしまった。サミットでグローバル化を宣言した、その後、基本法で二回、修憲案を作った。その中身は全然、作って入れませんでした。

もともと「有機」 原点の整理大切



東京大学名誉教授
谷口 信和氏

農政のどこに位置づく？
谷口 この多岐に渡る農政のどこに位置づく政策なのか、下手をすると技術だけの話になってしまっ、社会的に誰がこれを受け止める主体なのか、という地域でのものに進むのかという視点がある。それが重要です。スマート農業もそうですが、技術だけの話になってしまっ、農薬や化学肥料を減らさなければいけないという話になり、特別栽培というように言葉だけが響くものになってしまっ、意味がありません。そこで基本計画や政府全体の農業政策、中核の方向性というものを考えて、どこに位置づけるかを考えておく必要があると思えます。

谷口 私は基本計画とこの戦略は一体になっているという認識の仕方がいいという感じがします。やはり担い手の問題も含めた基本計画の構造の問題は基本計画を前提にしているわけですが、基本計画には盛り込まなかったものが多岐に渡ります。ただ政府の巧み戦略としては、多岐に渡る農政のどこに位置づくのか、これは戦略で農水省として新しい政策を出されても、政府の政策の方向性は

現場の農業に知見を見出す
谷口 多岐に渡る農政のどこに位置づくのか、これは戦略で農水省として新しい政策を出されても、政府の政策の方向性は現場の農業に知見を見出す。これは戦略で農水省として新しい政策を出されても、政府の政策の方向性は現場の農業に知見を見出す。

持続可能な農業とは何か問題だ
谷口 有機農業の定義も問題ですが、それ以上に今回持続可能な農業とは何かを議論することが大事です。多岐に渡る農政のどこに位置づくのか、これは戦略で農水省として新しい政策を出されても、政府の政策の方向性は現場の農業に知見を見出す。

「人・農地」見直し着手

中小経営体も戦力に 少子化で継続体制重視

農林水産省は5月25日、「人・農地」見直しについて基本方針を公表した。今後、具体的な内容を検討し年内をめどに閣議決定のパッケージを取りまとめることとしている。

高齢化、人口減少がもたらす少子化で、農業が持続可能な体制を築くことが重要と見られる。特に、中小経営体の戦力化が重視される。

農林水産省は5月27日、2021（令和3）年度の作付け意向調査結果を公表した。4月末時点の調査で、主食用米の作付け意向は、前年比で増加傾向となった。1月末時点の調査結果と比べると、主食用米の減少傾向は、前年比で減少傾向となった。4月末時点の調査結果と比べると、主食用米の作付け意向は、前年比で増加傾向となった。



農林水産省は5月27日、2021（令和3）年度の作付け意向調査結果を公表した。4月末時点の調査で、主食用米の作付け意向は、前年比で増加傾向となった。1月末時点の調査結果と比べると、主食用米の減少傾向は、前年比で減少傾向となった。

今年、農産物価格が暴落している。五輪の開催が、農産物の価格に大きな影響を与えている。農産物の価格が暴落している。五輪の開催が、農産物の価格に大きな影響を与えている。

農産物の価格が暴落している。五輪の開催が、農産物の価格に大きな影響を与えている。農産物の価格が暴落している。五輪の開催が、農産物の価格に大きな影響を与えている。

目明き千人

五輪が結び合い Wとなる意義

五輪の開催が、農産物の価格に大きな影響を与えている。農産物の価格が暴落している。五輪の開催が、農産物の価格に大きな影響を与えている。

